

平成30年度特別支援教育に関する実践研究充実事業
 (次期学習指導要領に向けた実践研究)
 成果報告書 (概要)

受託団体名
福井県

1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
福井県	特別支援学校	視覚障害	福井県立 <small>もうがっこう</small> 盲学校
福井県	特別支援学校	聴覚障害	福井県立 <small>ろうがっこう</small> ろう学校
福井県	特別支援学校	肢体不自由	福井県立 <small>ふくいとくべつしえんがっこう</small> 福井特別支援学校
福井県	特別支援学校	病弱・肢体不自由	福井県立 <small>ふくいひがしとくべつしえんがっこう</small> 福井東特別支援学校
福井県	特別支援学校	知的障害	福井県立 <small>ふくいみなみとくべつしえんがっこう</small> 福井南特別支援学校
福井県	特別支援学校	知的障害	福井県立 <small>れいほくとくべつしえんがっこう</small> 嶺北特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>おくれつとくべつしえんがっこう</small> 奥越特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>なんえつとくべつしえんがっこう</small> 南越特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>れいなんひがしとくべつしえんがっこう</small> 嶺南東特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>れいなんにしとくべつしえんがっこう</small> 嶺南西特別支援学校

2. 事業の実績

(1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
平成 30 年 4 月～	就労応援サポーター企業登録	・平成 30 年度 登録企業数 35 社 (総登録企業数 244 社 (H28～))
平成 30 年 4 月～	作業学習時の企業等による技術指導 (各モデル校)	・モデル校 7 校において、喫茶サービス、 工芸 (組紐、染色)、窯業、清掃、園芸 等で地域企業から技術指導を受けた。 ・作業学習は知的障害特別支援学校のイ メージが強いが、聴覚障害、肢体不自由、 病弱の特別支援学校でも作業学習に積 極的に取り組み、新たに革細工の作業に 取り組み始めた学校も見られた。 ・また、5 校の特別支援学校において中学 部・高等部の合同作業学習を実施し、異 年齢集団における活動の意味を各学校 が確認していた。
平成 30 年 7 月 12 日	技能検定運営協議会	・日程や役割分担等、運営に係る事項を確

		認。また福井県ビルメンテナンス協会から、評価に係る技術指導を受けた。
平成 30 年 7 月 21 日	第 1 回福井県特別支援学校技能検定認定大会	<ul style="list-style-type: none"> ・会場：南越特別支援学校 ・3つの特別支援学校から高等部生徒 11 名が参加。延べ 21 の清掃検定を実施。
平成 30 年 8 月 1 日	第 1 回キャリア教育担当者会	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習担当者を中心としたキャリア教育担当者会を開催。各校の 1 学期の作業学習や技能検定等の取組み報告を基に、活動のねらいや目的等を協議した。
平成 30 年 11 月 22 日	技能検定運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の清掃作業実施状況を報告。 ・校内で培った技術を、地域の清掃活動で活かしている特別支援学校事例を紹介。 ・第 2 回技能検定大会の日程、運営について協議。
平成 31 年 1 月 19 日	第 1 回福井県特別支援学校技能検定認定大会	<ul style="list-style-type: none"> ・会場：南越特別支援学校 ・3つの特別支援学校から高等部生徒 11 名が参加。延べ 21 の清掃検定を実施。 ・参加生徒のうち 4 名が夏の検定会に引き続き参加。新たな清掃科目や上級に挑戦していた。
平成 31 年 3 月 11 日	第 2 回キャリア教育担当者会	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習実施報告を基に、中学部から高等部への連続性のある活動や、キャリア教育の在り方を協議。

(2) 研究課題

地域企業等と学校が連携・協力した、生徒の職業教育・就労支援ならびに自立と社会参加に向けた、小・中・高等部の連続性のある教育課程の在り方について

(3) 研究の概要

- (1) 本県が平成26年度から高等部生徒に実施してきた地域企業と学校が連携した職業教育・就労支援を、中学部生徒に対象を拡大し、中学部段階から生徒個々の発達段階に応じた望ましい勤労観や職業観の育成を行うとともに、P-D-C-Aサイクルによる実習評価等を基にした就労課題改善のために必要な指導を学校教育活動全体での取り組みに関する研究を行う。
- (2) 作業学習等の学習活動で培った力を検定する技能検定を、中学部段階から参加できる福井県版技能検定として創設し、学部を越えた異年齢集団の中で、下級生が上級生の働く姿や高い技能への憧れや級の取得等、個々の生徒が目的意識をもった学習活動につながる技能検定の在り方に関する研究を行う。
- (3) 各学校における上記(1)(2)教育実践研究をとおして、キャリア発達の視点を整理し、進路選択のみならず将来の生き方、自立と社会参加に向けた中学部から高等部の系統性あるキャリア教育の在り方について研究を行う。

(4) 研究の成果

(1) 就労応援サポーター企業を活用した職業教育・就労支援

本県では平成28年度から、企業実習や作業学習時の技術指導等、特別支援学校の職業教育・就労支援において、学校に協力くださる地域企業を「就労応援サポーター企業」として公募・登録を行っている。平成30年度は35企業が加わり、総登録企業数は244企業となった(平成31年3月末現在)。

作業学習時の技術指導では、7つの特別支援学校で延べ356名の生徒が、17のサポーター企業から食品加工や喫茶サービス、清掃、園芸等で専門的な技術指導を受けた。その効果については、

- ・プロから高度な技術を学ぶことにより、専門性の高い作業学習を行うことができた
- ・校外講師から評価してもらうことは、生徒自身が社会貢献を実感する貴重な体験であり、それを積み重ねることで働く意欲を育てる機会になっている 等が挙げられた。

(2) 福井県特別支援学校技能検定

作業学習等で培った力を評価する技能検定の実施準備に取り組んだ。「中学部生徒から参加できる検定」として、評価基準を抑えた校内検定と校内検定上級認定者がチャレンジする県大会を設けた。平成29年度から公益社団法人福井県ビルメンテナンス協会の協力を得て、評価基準の検討、評価票の作成、各学校での清掃技術指導と指導担当教員向けの研修会等、技能検定運営委員会にて検定会開催に向け準備を進めてきた。

30年度の運営委員会では、「次につながる検定」が協議され、検定時の評価が作業学習等学校生活につながるよう、認定証の裏に評価票を付けること工夫を行った。これにより、できていないところを生徒自身が確認できるとともに、学校での指導のポイントにもなった。

今年度は、各学校での校内2回の県検定を行った(大会記録等は下記参照)。第1回目の検定で成績が残せず、その悔しさをバネに学校の作業学習でさらに技術磨き、2回目の検定で上位の級を取得した生徒もいる。

【平成30年度 清掃技能校内検定結果】

高等部生徒：受検者18名(延人数 22名)

中学部生徒(校内検定)：受検者 8名

<技能検定(清掃)認定者数>

検定科目	級	県認定大会					校内検定				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
テーブル拭き	第1回(7/21)	6	1				2(2)	3	1	1	
	第2回(1/19)	1	4	1			7	(3)			
自在ぼうき	第1回(7/21)		1				1	4	1(1)	1(2)	
	第2回(1/19)		1	3				1(1)	3(2)		
ダスタークロス	第1回(7/21)		2	2			6	2		1	
	第2回(1/19)	2		2	1	1	7	1	(3)		
モップ	第1回(7/21)	1	1	1			4	1	4	1	
	第2回(1/19)	1					3		(2)	(1)	
清掃総合	第1回(7/21)	1	2	3							
	第2回(1/19)	2									

※数値(人) (括弧内)は中学部生徒の人数

(5) 課題と今後の方策

サポーター企業等の外部人材講師による技術指導や技能検定は、生徒の働く意欲や向上心を高める機会として、学校教育活動に大きく機能し始めている。

その一方で学部合同作業学習は、昨年度よりも実施校が増えるとともにその有効性について実施校から報告があるものの、従来の学部別の学習・活動形態が一般的である。その一つの理由として「合同学習を行う意味」「ねらい」が学校で明確化されていない事が挙げられる。

「合同学習ありき」で実践を進める前に、その必要性を考えるべきではないかと意見も出ている。教科学習や教科・領域等を合わせた指導と同様に、個々の児童生徒の目標を達成するための内容・方法としての「合同学習」も考えられる。

今年度、合同作業学習実施に係る整理項目を用いて各学校が実践整理を行い、意義や課題、実践の工夫が挙げられている。次年度はこれらを再整理し、学部がつながった特別支援学校でのキャリア教育を考えていきたい。